

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品の名称 : 工事用リバーズ溶液
会社名 : 株式会社リバーズジャパン
住所 : 956-0816 新潟県新潟市秋葉区新津東町1丁目1628-1
電話番号 : 0250-47-6071
FAX 番号 : 0250-24-0181

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性			
引火性液体	区分外		
健康に対する有害性			
急性毒性 (経口)	分類できない	皮膚感作性	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない	生殖細胞変異原性	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	分類できない	発がん性	分類できない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない	生殖毒性	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	吸引性呼吸器有害性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない		
環境に対する有害性			
水生環境有害性 (急性)	分類できない	水生環境有害性 (長期間)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない		

GHS ラベル要素

絵表示

なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

一般名:

成分	含有量	化学式	CAS No.
水	94%	H ₂ O	7732-18-5
(スクロース/K/Ca/Na)発酵液	6%	社外秘	社外秘

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物: 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	: 付着した衣類、靴を脱ぎ、付着した部分を水またはぬるま湯で洗う。石けんを用いても良い。外観に変化がある、または痛みがある場合は医師の診察を受けること。
眼に入った場合	: 清浄な水で5分間以上洗眼する。その後、違和感がある場合は医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄する。洗浄後、500ml程度の水を飲む。その後、違和感がある場合は医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水、二酸化炭素、泡、粉末、乾燥砂を使用する。
使ってはならない消火剤	: 特になし
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	: 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置を参照）を着用する。
環境に対する注意事項	: 河川など環境中への流出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 多量に漏出した場合は、土のう等で拡散を防止し、凝集・凝固材等で凝集措置をした後、回収する。少量の場合は、乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	: 取扱い後は手をよく洗うこと。
接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	: 取扱い後は手をよく洗うこと。
保管	
技術的対策	: 特別に技術的対策は必要としない。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
安全な保管条件	: 凍結、高温多湿、直射日光を避け、通風の良い屋内で保管する。 : 5°C以下または40°C以上にならないようにする。
安全な容器包装材料	: 破損、漏れのない密閉可能な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 局所排気装置、洗眼、手洗い設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具	: 着用が望ましい。
手の保護具	: 保護手袋（ビニール製、ゴム製など）の着用が望ましい。
眼の保護具	: 保護眼鏡（普通眼鏡型、ゴーグル型など）の着用が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣の着用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 茶褐色
臭い	: 酢酸臭及びわずかな有機物臭
融点/凝固点	: 約 0°C
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 約 100°C
可燃性	: 情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 3.5 ± 0.2
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 水で殆ど無限に希釈可能
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 約 1.0 (20°C)
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 該当しない
その他のデータ	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の条件下では反応しない。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 低温 (5°C以下)、凍結、高温 (40°C以上)、多湿、直射日光
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
急性毒性（経皮）	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
急性毒性（吸入）	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
呼吸器感作性	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
皮膚感作性	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
生殖細胞変異原性	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
発がん性	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
生殖毒性	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性（急性）	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
水生環境有害性（長期間）	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない成分及びデータ不足の成分を多数含むことより、分類できないとした。

1.3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
- 汚染容器及び包装 : 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1.4. 輸送上の注意

- 国際規制
- 国連番号 : 該当しない
- 国連分類 : 該当しない
- 容器等級 : 該当しない
- 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 : 運搬に際しては容器の破損・漏洩がないことを確かめ、転倒・落下・破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
- 国内規制
- 陸上規制情報 : 該当しない
- 海上規制情報 : 該当しない
- 海洋汚染物質 : 該当しない
- 航空規制情報 : 該当しない

1.5. 適用法令

- 化審法 : 該当しない
- 化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 該当しない

1.6. その他の情報

参考文献・引用文献

- ・化審法化学物質改訂第5版. 化学工業日報社, 2002
- ・製品安全データシートの作成指針. 日本化学工業協会, 2001
- ・吉川治彦. Q&A で解決 化学品の GHS 対応 SDS をつくる本. 丸善出版, 2019
- ・化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度. 厚生労働省, 平成 30 年 12 月
- ・“GHS 分類結果データベース”. 独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) .
- ・“国連 GHS 文書”. 経済産業省.
- ・“GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報”. 厚生労働省 職場のあんぜんサイト.

記載内容に関する問い合わせ先

会社名 : 株式会社リバーズジャパン
電話番号 : 0250-47-6071
FAX 番号 : 0250-24-0181

作成年月日及び改訂情報

作成日 : 2015 年 12 月 9 日
改訂日 : 2019 年 11 月 6 日

- ・ 記載内容については、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実用性を対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上でご利用ください。
- ・ 全ての化学品は未知の危険性を呈する可能性があります。ここで示した危険性は、起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありませんので、取扱いには注意してください。

以上